

情報公開文書内容

研究課題名	一過性脳虚血発作または脳梗塞患者の脳卒中再発に関する観察研究
研究期間	研究許可日～2026年4月30日
研究の目的と意義	<p>一過性脳虚血発作や脳梗塞を発症すると二度目の脳卒中を発症しやすく、その再発率は発症後1年で8～10%、5年で18～34%と報告されています。後遺症を克服して社会復帰した患者さんだけでなく、後遺症に対してリハビリテーションを続けている患者さんにとっても、脳卒中再発を予防することはとても重要なことです。</p> <p>近年、血圧・血糖・コレステロールなどの血管症危険因子の管理や、血液を固まりにくくする治療（抗血栓療法）、頸動脈内膜剥離術やステント留置術などの手術、が脳卒中再発予防に有効であることが確かめられてきています。こうした治療を複合的・長期的に行うことにより一過性脳虚血発作や脳梗塞を発症した患者さんの脳卒中再発は減少すると予想されます。</p> <p>このような治療が実際に有効であることを明らかにすることは大きな意義があると考えられるため、本研究が計画されました。</p>
研究方法	2014年4月1日から2021年3月31日までに一過性脳虚血発作または脳梗塞を発症して7日以内に入院した患者さんを対象に、診療記録より観察項目情報（脳卒中の病型や治療、転帰など）を収集します。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません（公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです）。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院 脳神経内科 部長 永金 義成 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代） 受付時間：月～金、9～17時（但し、土日、休祭日を除く）